

学校法人 田村学園
横浜経理専門学校

自己点検評価報告書

2026年7月

校 長	部 長	作成者

基準を満たしているかを3段階で表示
 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている
 2：概ね基準を満たしている
 1：基準を満たしておらず改善が必要

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	自己点検 評価
1 教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか	3	◎

【評価結果の分析】

小項目1について ・産業経済における経営経理に関する専門の理論並びに技術を教育し、職業及び實際生活に必要な能力の育成と向上を図ることが目的と設定している。

【今後の改善方策】 ・今後も企業におけるリスクを想定し、それらを未然に防いでチャンスに変えていく能力を有する、本物の“人財”を育成できるよう務めていく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	自己点検 評価
2 教育課程、教育の実施、学修成果	1 教育課程の編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか ②外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を10単位以上開設しているか 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム	2	◎
	2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか ②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定しているか 【注】職業実践専門課程	2	◎
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか	2	◎
	4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できているか	2	◎
		学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか	2	◎

【評価結果の分析】

小項目1について ・教育理念・目標に沿いつつ、各科に対応する業界の人材ニーズを踏まえ、規定の学習時間とともに作成されており、検定試験合格の目標達成に向けたカリキュラムが、基礎から応用まで段階ごとに確立されている。

小項目2について ・学校オリジナルの教材等も使用し、講義や演習など適切な授業形態は整っている。また、社会・業界の流れ・改定等を常に念頭に置き、カリキュラム編成を柔軟に編成・変更できる体制を取っている。成績評価・単位認定の基準は学則を踏まえて、各学科の特性を考慮しながら基準を明確にしている。

小項目3について ・卒業判定の基準は学則を踏まえて、各学科の特性を考慮しながら基準を明確にしている。

小項目4について ・目標資格に対する意識付けと、資格取得までのタイムスケジュールを明確にしており、学生各々目標としている資格の取得は概ね達成している。
 ・進学・編入希望の学生は希望通りの進路先に進んでいる。就職希望学生の就職は概ね達成している。

【今後の改善方策】 ・業界のニーズを踏まえ、改編、見直し等の検証を行い、より充実した教育課程を構築していく。就職率100%を目標に、より一層、学生への教育・指導や求人確保に努めていく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	自己点検 評価
3 学生の受入れ、学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定しているか	3	◎
		②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか 【注】修学支援新制度機関要件の確認 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	3	◎
	2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいるか。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っているか	2	△
	3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っているか	2	△
		②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されているか 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	—	認
	4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか	2	◎
		②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか	2	◎
		③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか	2	◎
		④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか	2	△
		⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか	2	◎

【評価結果の分析】

- 小項目1について ・ Webや募集要項等で入学選考基準を明示し、公正に可否を決定している。学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っている。
- 小項目2について ・ 学習支援として補習授業を行う場合もある。また、放課後もオンライン（google Classroom・Meet等）や教室、PC室や図書室などを活用して学習できるよう支援している。
- 小項目3について ・ 留学生を中心に多様な学生に対する支援を行っている。
- 小項目4について ・ 学生相談カウンセラーはいないが、カウンセリングルームを設置し、個別相談に対応した支援を行っている。
- ・ 退学要因が経済的事情、精神的疾患など多岐にわたる現状において、悩みを抱える学生に対しては、真摯に適切な対応を行っている。
- ・ 年1回4月末に教職員・学生ともに健康診断を行っている。
- ・ 日本学生支援機構、各種教育ローン等以外にも田村学園奨学生制度や、事業部スポーツアカデミー事業奨学生などを設置している。
- ・ キャリア支援、就職支援はキャリアデザイン室との連携により実施している。

- 【今後の改善方策】 ・ 学科によって定員の充足率に差がある。今後も高校訪問等の頻度・対象校を拡大し、積極的に学生を確保しに行く姿勢を強化していく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	自己点検 評価
4 教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用しているか	2	◎
		②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握しているか。また、教員の専門性、教授力を把握、評価しているか	2	△
	2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか	3	◎
		②教員間で連携、協力体制を構築しているか	2	△
	3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか	2	◎
		①～2 特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的にを行っているか 【注】職業実践専門課程】	—	認
		②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的にを行っているか 【注】職業実践専門課程】	—	認

【評価結果の分析】

小項目1について ・教育方針を明確に伝え、理解いただき、履歴書、職務経歴書等を精査するとともに、面接を通じて、授業内容に十分なレベルか判断している。
・教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握している。教員の専門性、教授力も把握している。

小項目2について ・部長を中心に、教員組織を整備し、業務分担、責任体制を定めている。
・教員間の情報共有、連携はもちろん、同科目教員ごとに適宜ミーティングを行い、協力体制を構築している。

小項目3について ・インストラクションスキル向上のため、研修受講を奨励し、維持・向上に努めている。

【今後の改善方策】 ・ヒューマンスキルの維持・向上として、授業参観や、講師面談等を積極的に取り入れていく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	自己点検 評価
5 教育環境	1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか	2	◎
		②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備しているか。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保しているか	2	△
		③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしているか	2	△
	2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか	2	◎
		②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか	2	△
	3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか	2	△
		②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施しているか	2	△

【評価結果の分析】

小項目1について ・普通教室・PC室・図書室・カウンセリングルーム等の教育施設・設備を備えている。
・自習や休憩等のスペースとして、放課後も必要に応じて普通教室、PC室などを解放している。
・図書室を設置しており、必要に応じて学生は閲覧できるようにしている。

小項目2について ・ときとして学校の安全を脅かす事件・事故が発生する場合、そのようなときに備えて、適切かつ確実な危機管理体制を確立している。
・年1回避難訓練を実施している。緊急事態発生時の対応図や緊急事態発生時の連絡先一覧表を作成し、緊急事態発生時に備えている。

小項目3について ・定期清掃、設備点検、セキュリティ管理を日頃から実施している。
・計画的に校舎補修・設備メンテナンス等の予算を確保し、快適な学生生活のための環境作りに努めている。

【今後の改善方策】 ・学生、教職員の安全のため、今まで以上に、巡視等を行うことによって、危険をいち早く発見するなど、日常の危機管理意識を高める必要がある。
・マニュアルに従って、事件・事故に対処できない場合、臨機応変に役割が変更できるよう、各担当者の業務内容も熟知し、緊急事態発生時に備えていく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	自己点検 評価
6 教育活動の基盤と改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられているか	2	△
		②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか	2	◎
	2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)	3	◎
	3 学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用しているか	—	△
		①-2 特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか	—	認
		【注】職業実践専門課程		
		②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか	3	◎
		③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか	2	◎
	4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか	3	◎
		②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいるか	—	△

【評価結果の分析】

小項目1について

- ・ 中期計画として、事業部スポーツアカデミー事業奨学生を令和7年度より募集開始している。この奨学生は、マネジメント専攻科(現マネジメント学科)に入学し、日々修学する経営・マネジメント知識と、過去のバスケットボール経験で培った経験というスキルを、事業部のスポーツアカデミー事業に参画することで実践する事を目的としている。
- ・ 学校運営の財務基盤においては、安定性を優先に考え、中長期的な運営基盤の構築に努めている。

小項目2について

- ・ 組織体制は整備されており、適切な運営を行っている。

小項目3について

- ・ 自己点検評価を学園ホームページで公開し、周知している。
- ・ 自己点検評価は、今後に向けての課題等の整理・改善、教育力の向上に役立っている。

小項目4について

- ・ HPやSNS等を使用して、公表している。

【今後の改善方策】

- ・ 財政基盤は安定しているとはいえ、少子化という厳しい状況をふまえ、入学者確保を重視した学校運営をし、財務基盤の向上を目指す。